

雁木に関する基礎知識

【参考資料】

雁木とは

- 江戸時代、「この下に高田あり」と高札が立てられたほどの豪雪地帯である高田では、冬期間でも人々の往来ができるよう、家の前に張り出した庇である「雁木」が造られました。
- 雁木は母屋の一部であり、雁木の下は私有地なので、雁木の高さや雁木の下の舗装も一軒一軒異なります。雁木は厳しい雪国の環境の中で育まれた互助の精神の象徴である伝統的な建造物です。



- 本紙は、景観づくり地区計画の円滑な運用のため、「雁木」に関する基礎知識を共有することを目的としています。

歩行空間

- 雁木が生み出す歩行空間は、歩行者の円滑な通行のため、現在も利用されています。
- 雁木が歩行空間として機能していることを鑑み、工作物の設置は避け、雁木を設けない場合は建物をセットバックするなど、歩行空間を確保するための工夫がされています。

基本



やむを得ず雁木を設けない場合



雁木通りとして通行できる空間を確保している例

3

形態

- 雁木は、落とし式（下屋式）、造り込み式、単独式等、様々な形態で建築されています。
- 形態の選定は各建物所有者に委ねられるものですが、雁木通りとしての連続性を損なわないように配慮されています。

基本



落とし式（下屋式）

他の形態とする場合



造り込み式



単独・独立式



カーポート式



その他の形態

4

材質

- 雁木の主要構造部は、木造、鉄骨造等の様々な材質で建築されています。
- 雁木の屋根は、瓦葺き、長尺金属板葺き等の様々な材質で建築されています。
- 材質の選定は各建物所有者に委ねられるものですが、建築場所の現場条件や使用方法を勘案の上、雁木通りとしての連続性を損なわないように配慮されています。

主要構造



木造



鉄筋コンクリート造



鉄骨造

屋根



瓦葺き



長尺金属板葺き



折板葺き

5

有効幅員

- 雁木は歩行空間であることから、一定の有効幅員が確保されるよう配慮されています。
- 雁木通りによって幅員は様々ですが、雁木通りの連続性を鑑み、一定程度の有効幅員が確保されるよう配慮されています。

※有効幅員とは車両の通行上支障のない部分の幅をいい、柱等の構造物を除く幅をいいます。

有効幅員



雁木通りの幅員



6

歩行面

- 雁木は歩行空間であることから、歩行面は滑りにくく、平坦となるよう配慮されています。
- 材質は、石畳やコンクリートなど様々ですが、コンクリートとする場合は木ゴテ仕上げ等の滑りにくい表面仕上げとするなどの配慮がされています。
- 隣接する雁木や道路との段差は可能な限り小さくし、やむを得ず段差が生ずる場合は、小さな勾配ですりつけるよう配慮されています。

材質



石畳



レンガ敷き

段差



隣接する雁木、道路面との段差

表面仕上げ



木ゴテ仕上げ



洗い出し

色彩

- 雁木（柱、屋根、歩行面等）及び道路に面する建物（外壁、建具等）の色は、周辺環境や建築物に馴染む素材や意匠でできるだけ明るさを抑えた色となるよう配慮されています。

色彩の代表例



屋根	N1.5	N1.5	N1.5	N1.5	黒
外壁	2.5Y9/1.5	5YR4/1	1.25Y8/2	N9	ベージュ、茶
建具・格子	10R2/1	10R2/1	10R3/3	10YR2/1	茶、こげ茶
雁木（屋根）	N1.5	N1.5	N1.5	N1.5	黒
雁木（柱）	N2	10YR2/1	10YR2/1	10YR2/1	茶、こげ茶
雁木（歩行面）	コンクリート	石畳	石畳・洗い出し	コンクリート	グレー

色彩ガイドラインによる誘導



南本町三丁目景観色彩ガイドライン

色彩基準内の外壁基調色の推奨色

10YR 6.5/0.5 (19-65A)	10YR 7/2 (19-70D)	7.5YR 4/2 (17-40D)
10YR 6/1 (19-60B)	10YR 6/3 (19-60F)	2.5Y 7/1 (22-70B)
10YR 5/1 (19-50B)	10YR 4/1 (19-40B)	2.5Y 5/1 (22-50B)

推奨配色例

屋根	屋根	屋根	屋根
10YR 3/2 (19-30D)	10YR 3/1 (19-30B)	10YR 3/0.5 (19-30A)	10YR 3/1 (19-30B)
外壁	外壁	外壁	外壁
10YR 6/1 (19-60B)	10YR 6/3 (19-60F)	10YR 8/0.5 (19-80A)	10YR 6.5/2 (19-65D)
雁木	雁木	雁木	雁木
10YR 3/1 (19-30B)	10YR 3/2 (19-30D)	10YR 3/0.5 (19-30A)	10YR 4/1 (19-40B)

※色見本に記載の数字と記号は、上段はマンセル値、下段は日本塗料工業会標準色見本帳の色番号です。

外構付属物

- 道路に面する建具がアルミサッシの場合や空調室外機を設置する場合は、落ち着いた色彩の木製格子等で目隠しのための修景を施すなど、配慮されています。
- 看板等の屋外広告物は、連続雁木の連なりや風情を損なわないよう、木製看板など自然由来の素材を用いるとともに、落ち着いたデザインや色彩となるよう、配慮されています。

アルミサッシ、空調室外機が目隠し



看板



木製看板など落ち着いたデザインや色彩

照明

- 雁木灯等の照明は、温かな灯りで落ち着いた街並みを演出できるよう、色味や照明手法を工夫するなど、配慮されています。

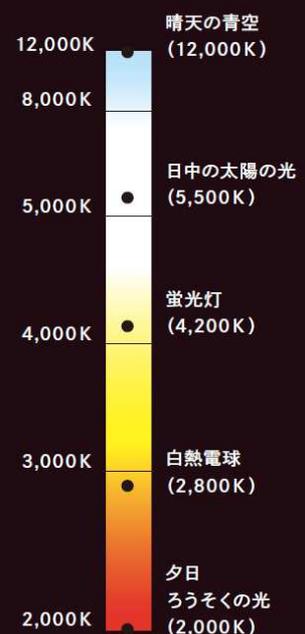
雁木灯



温かみのある電球色で夜間の街並みを演出

色味

光の色味のことを「色温度」といい、「ケルビン (K)」という単位で表します。色温度が高いと青みがかかり、低いと赤みがかって見えます。日中の太陽の光がおよそ5,500K、夕日やろうそくの光がおよそ2,000Kです。



色味